

文化振興関連施設一覧

施設名	施設概要	部局名	課室名
なら歴史芸術文化村	歴史文化資源の活用及び芸術文化活動の振興により心豊かな県民生活の実現に資するとともに、観光、産業等の分野と連携した施策の実施により地域振興に寄与する施設である。施設の運営や活用について委員会等で意見聴取を行い、活用促進を図る。	地域創造部	文化振興課
文化会館	ホール、展示室、貸し会議室の3つの機能をもち、県民の文化活動の拠点となる文化施設。奈良公園のエントランスに位置し、県庁周辺の賑わいを創出する。令和5年度より再整備工事のため、休館。	地域創造部	文化振興課
橿原文化会館	ホール、展示室、貸し会議室の3つの機能をもち、中南和の文化拠点として橿原市に立地する文化施設。駅からのアクセスも良く、県内どこからでも訪れやすい。	地域創造部	文化振興課
県立美術館	県内で唯一、中近世から現代美術までを扱う美術館であり、県輩出の富本憲吉（重要無形文化財各個認定保持者）の作品も数多く所蔵している。また、近鉄奈良駅から徒歩圏内に立地し、利便性にも富んだ施設である。	地域創造部	文化振興課
図書情報館	平成17年に文化情報の発信基地としての役割を担った県立の総合図書館として設立。収蔵図書は一般書籍をはじめ、奈良の歴史や文化に関する書籍・史料など現在約75万冊の蔵書を誇り、また全国でも珍しい「戦争体験文庫」を有する図書館である。	地域創造部	文化振興課
万葉文化館	平成13年に万葉のふるさと・奈良にふさわしい『万葉集』を中心とした古代文化に関する総合文化拠点として開館。日本の古代文化に関する調査・研究機能、万葉に関する文化の振興を図る展示機能、万葉集に関する情報の収集提供を行う図書・情報サービス機能を併せ持っている。	地域創造部	文化振興課
橿原考古学研究所附属博物館	日本発祥の地「奈良」の歴史を展示紹介する博物館で、歴史教育施設、観光施設とその役割は多い。国宝、重要文化財をはじめとする貴重な文化財を多数所蔵する。近鉄畝傍御陵前駅から徒歩5分。近鉄橿原神宮前駅から徒歩15分と交通アクセスも良く利便性に富んだ施設。	地域創造部	文化財課
民俗博物館	昭和49年に開館した県立民俗博物館は大和民俗公園内に位置し、奈良のくらしを伝える多種多様な道具を展示している。また、その広々とした大和民俗公園内には、県内各地から移築復原された江戸時代の古民家が建ち並んでおり、四季折々の景色を楽しみながら当時の生活にふれることができる。（博物館本館は令和6年7月16日以降一時休館中であるが、古民家園は通常どおり見学可能。）	地域創造部	文化財課
奈良県コンベンションセンター	最大2,000名収容可能なコンベンションホールを有する県内最大の会議場。大小様々な14の会議室や大屋根付き屋外多目的広場「天平広場」、階段型座席の劇場空間「天平ホール」など様々な催事の開催が可能。地上・地下駐車場、バスターミナル、飲食物販機能を持つ観光振興施設（奈良 蔦屋書店）からなる複合交流施設。	観光局	観光力創造課
奈良春日野国際フォーラム（能楽ホール）	緑豊かな奈良公園に位置するコンベンション施設であり、能楽発祥の地にふさわしい本格的な能舞台をもつ能楽ホールでは、伝統芸能だけでなく国際会議や学術会議等多目的利用ができるようになっている。	観光局	奈良公園室
天平みつき館 天平うまし館 天平みはらし館 天平つどい館 復原遣唐使船 交通ターミナル駐車場 県営奈良めぐり平城宮跡前自動車駐車場	平城宮跡の往時の広大な空間を体感するとともに、平城宮のかつての姿や人の営みに関する展示や便益施設を備えた、平城宮跡の正面玄関として「朱雀門ひろば」を開園（平成30年3月）。 【県営公園区域】 ・天平みつき館（観光案内所・休憩スペース）、天平うまし館（飲食・物販）、天平みはらし館（展望デッキ・VRシアター等）、天平つどい館（団体集合棟スペース・利用案内）、復原遣唐使船、交通ターミナル駐車場 ・本格的な公園整備に着手するまでの間、平城宮跡南側地区の有効活用を図るため、令和3年10月1日に仮設駐車場として「県営奈良めぐり平城宮跡前自動車駐車場」を供用開始。 〈参考〉 【国営公園区域】 ・平城宮いざない館、朱雀大路・二条大路	まちづくり推進局	公園企画課
同和問題関係史料センター	県内各地の部落差別に関する歴史的資料の保存及び調査研究を行い、部落差別の解消をめざす取組みを進めるため設置されたもので、平成5年12月オープン。展示室、収蔵庫、研修室、研究室等を有する。	教育委員会事務局	人権・地域教育課